

## 研究セミナー（第18回）・会員交流会（第7回）報告

去る3月18日（土曜日）13時30分～16時30分、エルプラザにおいて研究セミナーと会員交流会を同時開催しました。参加者は、オンライン参加4名を含む23名でした。参加者には事前申し込みの非会員が5名おり、多岐に渡る発表内容で、いずれの発表にも関心が高く大変盛況でした。

発表内容は、アラビア半島における地下深部構造を示す全面露頭（宮下氏）、道北やトルコ・シリアの地震活動の実態（高波氏、関根氏）、札幌市街地下に建設中の新幹線トンネル周辺地質（岡氏）など、いずれも興味深く、質疑が活発に交わされていました。中でも新幹線トンネル工事については、生活環境への影響を危惧する質疑が多くあり、地質専門家からの情報発信の重要性が指摘されていました。

一部、スライド表示の不具合で、オンライン参加者には視聴しにくい状態が生じ、今後の反省材料となりました。後日、オンライン参加者にアンケート依頼し、貴重な意見や要望が寄せられました。

以下は当日の発表プログラムです。

宮下純夫：アラビア半島オマーンの自然と文化と人々

高波鐵夫：北海道北部の最近の地震活動 – 2022年8月11日中川付近の地震 M5.4  
を中心に –

関根達夫：トルコ・シリア地震関連情報（動画あり）

関根達夫：支笏湖楓の沢の多視点撮影から3Dモデル作成（動画あり）

関根達夫：支笏カルデラ支笏火砕流堆積物分布図（産総研地質調査総合センター）の紹介(2022/12/26公開)

岡 孝雄：札幌市街下で計画のシールドトンネル（新幹線）とその先行事例（望月寒川放水路トンネル）

担当幹事（岡村 聡）

(写真キャプション)

宮下氏によるオマーンの紹介

